

DiMAPS へのアクセスは
国土交通省トップページのバナーをクリック

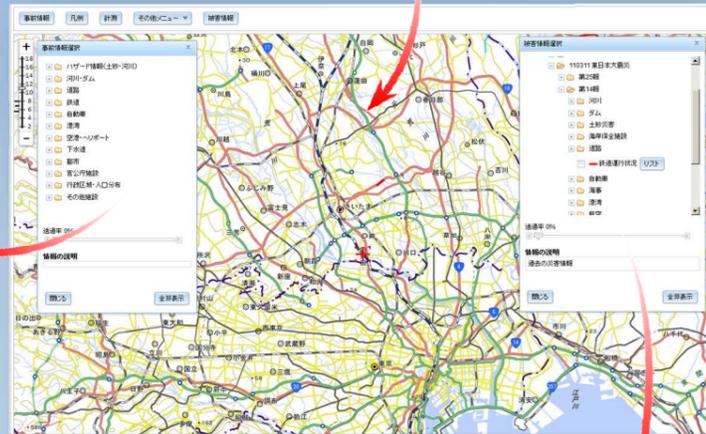
(URL) <http://www.mlit.go.jp>



～災害情報をより早く、わかりやすく～

統合災害情報システム DiMAPS

(Integrated Disaster Information Mapping System)



DiMAPSが扱う事前の登録情報



ダム、高速道路、鉄道路線・駅、バスターミナル、港湾、空港、ヘリポート、下水道処理施設、公園、官公庁施設、病院、避難施設等を地図上で表示

DiMAPSが扱う被害情報



バスターミナル、港湾、空港、下水道処理施設、公園、土砂災害等の被害情報を地図上又はリストで表示



※ DiMAPSの被害情報は、大規模災害発生時に「〇〇災害に関する〇月〇日〇時時点の被害情報」として時点毎に更新して表示します。
 ※ 基盤地図や登録している事前情報は定期的に更新します。
 ※ 当サイトのコンテンツを利用される場合は、国土交通省の利用規約を確認のうえご利用ください。 (<http://www.mlit.go.jp/link.html>)
 ※ 本リーフレットの記載内容は2015年9月現在のものです。

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

〒100-8918
東京都千代田区霞が関2-1-3 (代表電話) 03-5253-8111

国土交通省 国土地理院 企画部 防災推進室

〒305-0811
茨城県つくば市北郷1番 (代表電話) 029-864-1111



国土交通省・国土地理院

災害情報をより早く、わかりやすく「DIMAPS」

統合災害情報システム（**DiMAPS**）は、地震や風水害などの自然災害発生時に、いち早く現場から災害情報を収集して、地図上にわかりやすく表示することができる、今までにない全く新しいシステムです。

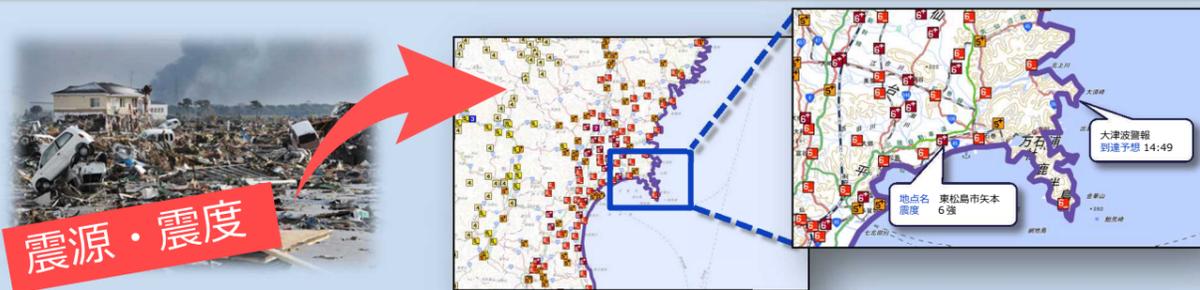
素早く集めて、どこでも誰でも見る事が可能に。

全部まとめて、自由な大きさで見ることが可能に。

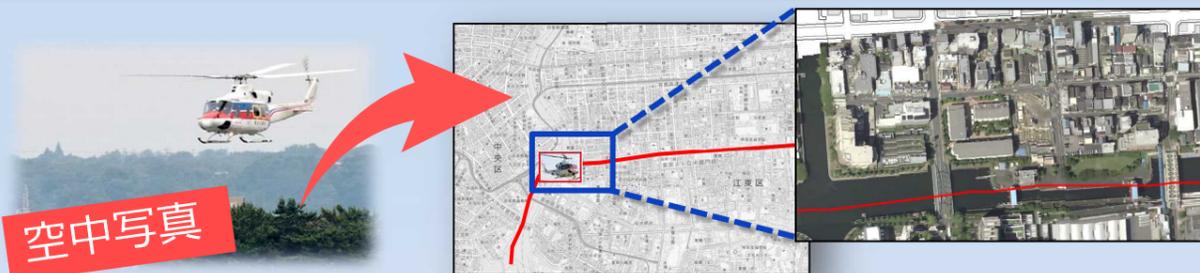
DiMAPS は、震度情報や被災地の空中写真、被害情報などを、ほぼリアルタイムで地図上に表示します。このため、被害状況を迅速に把握し、共有することが可能になります。

DiMAPS は、国土交通省が収集するインフラや交通関連の被害情報を集約して、拡大・縮小可能なシームレスな地図上で、統合して表示します。これにより、被害状況の全体像の把握と、その後の的確な意思決定を支援します。

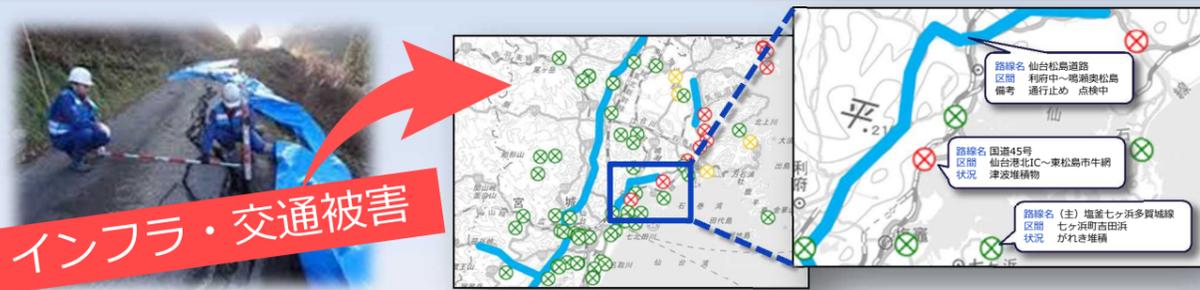
震源・震度等に関する情報を発生直後に表示します。



防災ヘリが撮影した高画質な画像をリアルタイムで表示します。



インフラや交通関連の被害情報を垣根を越えてスピーディーに表示します。



TEC-FORCEの活動状況を現場からダイレクトに表示します。

